

綱領

1. われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて、われわれの権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
 2. われわれは、常に暴力と独裁を排し、自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
 3. われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する

日暮新聞ニュース

發行所
日本赤十字新労働組合連合会
(略称「日赤新労」)
東京都港区西新橋3の14の5
Tel・東京434-7080
発行責任者
川島亮介



第6回定期大会会場　日光市

於 栃 木 県 日 光 市

第六回 定期大会参観

<p>新加盟単組代表挨拶</p> <p>○今津日赤新勞佐田組合長 　今回宿題であつた新勞加盟の目的を達し、悦びに堪へない。今は皆様とガツチリ手を組んで進みたい。</p>
<p>執行委員長挨拶</p> <p>○三原日赤従組兎玉組合長 過激な全日赤の行動等のため、加盟店がのびのびになつて、いたが今回心から応援された、新勞の役員の方々のご努力により正式に加盟店に踏み切ったことを、この上無く嬉しく思います。</p>
<p>来賓挨拶</p> <p>○大田原日赤小森副委員長から、皆様の力によつて、日赤の興隆発展を望む旨の挨拶があつた。</p>
<p>地元単組代表挨拶</p> <p>○大田原日赤小森副委員長から、世話役として至らぬ点を謝し、赤十字のみならず、日本の新勞に發展するよう願うと共に、多數出席者を歓迎する旨の言葉があつた。</p>
<p>執行委員長挨拶</p> <p>先づ地元幹部単組の労を謝し發</p>

(調査部報告) 調査部長山川氏退任につき、定期執行委員代つて、年金制度、賃金実態調査等に關し報告し、年金制度については、財政面で難航しており、定期制とも絡んで複雑性を加えているが、本社に於ても新規からの申し入れ等により、検討して居る状況なので、今年は何等か解決の曙光をみつけたないと述べ、年金実態調査については、先般新規ニュース35号に登載のとおりであります、調査回答数が少數であったのは遺憾であるが、地域格差の大きさのこと等その一班を知り得た事と思うと述べ、今后この種の調査要請に対しても一層積極的に協力されたいと要望した。

(会計報告) 北村会計から、四十一年度決算についてプリントにより説明があり、中央委員会において当初予算額の更正を行なったこと及び科目各項につき細部に亘り補足し、歳入・歳出・翌年度繰越額等詳細なる説明を行なつた。

(会計監査報告) 久保田監査委員から、本年度は監査書並びに会計諸帳簿の整理記述等正確に行なれて居り、前年に比し、更に進歩の跡が認められ良好であるとの報告がなされた。以上をもつて報告を終り、いずれも承認された。質疑質問事項次の如く

一、日赤の近代化
二、人事院勧告を
三、強固なる組織
四、年金制度の推進
五、福利厚生施設

(村岸) 近代化・合理化については誤解を生じないよう注意する必要がある。また輸入人事については以上について提案の趣旨説明を行ない、各項目毎に審議に入る。
「日赤の近代化」

(中村) 年金制度促進について執行部の考え方を聞きたい。

(吉原) 団体等機会ある毎に本社と折衝しているが、財政問題が焦点であり、健保が崩壊したこと等でも解るよう、各施設の絶対の責任と、誠意ある協力が必要である。本社に於ても研究を進めている模様なので、本年は進展が期待される。

(藤井) 本社で研究中のことだがどの程度のものか。

(吉原) 人事部担当係員によつて進められている、果してどの程度のものが日赤に適しているか、その試案について一度話し合つて見たい。

(山景) 組織問題について報告する。鳥取日赤においては、会費納入の人員を組合員全員とすることにきめた。

(昭和四十二年度運動方針)

吉原書記長から、四十二年度運動方針について「日赤労防運動の完全制覇」を主柱とする五項目即ち

【審議】

完全実施させよう
の拡大発展に邁進
を実現しよう
を擴充させよう

従業員の勤労意欲喪失する虞があるのでこれを重視したい。
労使協議制度用については、な
お突込んで考えてはどうか。

(西川) 本社とは改定中の就業規則準則は近代化に逆行する点はないか

○本部と本社との間に締結された労働協約は単組に対してどんな関連があるか。

○以上の質問に対し、執行部から次のとおり答弁した。

○所謂合理化については誤解を生じないよう注意する。

○輸入人事は極力阻止する。

○就業規則開示の件については、先般全単組に全文の写を添えて送付した所であり、若干の問題点はあるが全員赤の指摘する見解とは相違している。

○本年も学習会議を効果的にしたい。

○新勞本部を本社との間に締結された労働協約はその儘単組にも適用される。単組に於て本部協約により有利な条目で細部の協約を結ぶのは結構である。

(村岸)
人事院勅告は昨年を上廻る線
出される情勢と判断されるが
日亦における諸般の事情は極
めて厳しいものがある。地に
いた具体的の方策を立て、緻密
効果的戦術を展開するよう執
部にのぞむ。

佐田組合長（今津日赤）
の新加盟店挨拶

大會宣言

「日赤新労は、結成以来五年八ヶ月、組合員の一
致団結と、撓まざる努力により、着実なる前進を
続け、本日茲に新たなる同志を迎へ、第六回定期
大会を持つに至つた。

本年は更に躍進を続け、日赤労働運動の完全制覇
を目指し、益々団結を固め、新たなる決意と勇氣
を以て目的完遂に邁進せんとするものである。」

右宣言する。

昭和四十二年五月二十四日

第六回 定期大会



大会宣言文よみあげる鈴木さん(東京支部)

(鶴井) 福利厚生施設の「充実」は「拡大」の方がよいと思う。
(吉原) 八丁閻商店手帳等詳細は別労ニユース30号参照されたい。なお「充実」を「拡充」とすることは異存はない。
昭和四十二年度予算案
北村会計からプリントにより第四回中央委員会に於て承認された新年度予算案について説明があり、討議に入る。
(前川) 先ず会費一人〇円とする根本問題から進めたい。
(久保田) 物価その他諸情勢から見て、三〇円は妥当であると思う。
(若山) 極めて当然であり全く異存はない。
その他各代議員から賛成異議なしの声があり、この問題は、中央委員会でも採択されて居り、各単組全組員の間にも反対者がないいので、無記名投票を行なつたものとして、出席代議員全員の了解のもとで、举手投票により決定した。
なお実施時期については四月・五月から実施することにきつたが、五月から実施することにきつた。
(久保田) 執行部から例年どおり統一要求を行なうかどうか、またその額について語つた。
(久保田) 例年どおり、単組交渉と共に統一交渉をやつて貰いたい。
(堀江) 本社通達に対する功罪については論議される所だが、矢張り業績の悪い施設に対し、通産の線まで持つて行くなどいうことがあり、高額支給可能施設の足を引きつけることにもなるが、組合としては統一交渉によつて、より有利な通達を出させるようすべ

きであると思う、また一律の問題もあるので、從米通り単独交渉と併行して統一交渉をやつ貰いたい。

外にも統一交渉必要との声があつたので、統一要求を行つたとなつた。

次に額について諸つたところ

第一ブロツタ一六割プラス律三、〇〇〇円

第二ブロツタ一七割プラス律三、〇〇〇円

第三ブロツタ一六割プラス律五、〇〇〇円

第四ブロツタ決定なし。

第五ブロツタ昨年を上廻らすこと。最低公務員並とすること。

第六ブロツタ一六割プラス律五、〇〇〇円

(吉村) 社会情勢並びに物価上昇からて、一八割プラス三、〇〇〇の線を出したい。

以上、着手採決の結果

十六割(+)一六割五千円の硫要求を出すことに決定

なお、本部から発言があり、社のブルブルと引き延ばし戦略かかるような場合は、統一團交打ち切るかも知れないということを補足した。

急提案が出された。

これに対し、盛岡軍組久保田菊地朗代議員から、かかる重要な問題を唐突に出されるのは当然を得ないといふ意見があつたが、組合も漸増し、会費も増額された今財政面からも可能なで増員すべきだという意見が多く、無記名投票の結果

会計監査 久保田慶吉（盛岡日赤）
会計監査 若山義郎（東京都支部）

○新・旧役員挨拶 宣言文起草委員によつて起草された、左記宣文が、東京都支部鈴木美都子氏によつて朗読された。

○新・旧役員挨拶 小崎執行委員長新役員の顔振れを紹介し、清新氣鋭の新役員のバッタタップにより、立場上困難の事情を補ない、何とか重責を果したいと挨拶した。

○新・旧役員挨拶 次に定久・加藤両氏から、任期中の協力を深く謝し、今後益々新労の発展を祈る旨挨拶があり、最後に新労成以降、書記長、副委員長、委員長、書記長、書記と歴任し、新労のために一身の利害を度外視して尽力した吉原氏が壇上に立ち、吉原氏が壇上に立ち、

「今自分は母親が愛な娘を嫁にやつた時のような何とも云われぬ淋しい、うつるな気持で一杯……」

と声涙共に下る挨拶があり、思わずハンカチを顔にあてる組合員もあつた。

かくて劇的挨拶が終り吉原氏降壇するや、盛岡單組代議員菊池地氏から緊急動議が提出され、功賛贈著な吉原氏に対し記念品を贈呈したい旨に對する書があり、万場一致之を可決した。記念品の金品についてとは、各單組に贈出させてほしいという、東京都支那若山代議員の申出もあつたが、前例もあることなので、執行部に一任することになった。

○その他 大会の幕を閉じた。



新役員の顔ぶれ



4月18日 大田原職組臨時大会

「働き易い職場」「明かるい職場」「そんな職場を夢に、いや実際に求めて過去三年間の組合活動はこれ一筋に進めてきた。それだけに大きな問題はもとよりどんな小さな問題でも又組合側には直接関係しない問題でもすべて取り上げ討議をした。そして積極的に経営陣との話し合いを続け、「病院の発展」「職場のカラス張り」は労使協調の他何もない労使双方は信じていた。それだけに吾等の目標は歩一步進んでいるかがふみにじられる事態が生じた。つまりこれまで労使間で決めた種々の事柄を経営陣が次々と一方的に破る結果となつたからだ。それが組合活動をやつてきたのだとすればいかん。とにかく経営陣の反省を求める、その責任を追及しな

「大田原駆組 病院近代化に立ち上る!!

(四月十八日 臨時組合大会)

くてはと考へ、去る三月二十四日開交を開くこととした。組合側は本部の吉原書記長の出席を依頼して開交に望んだ。だが経営側は当日になつてと云うよう

に開始直前になつて開交を拒否された。理由は「吉原書記長が開交拒否をしてきた。その理由は「吉原書記長が出席する開交には応じられない」との事である。

この理由は開交拒否としての正当な理由とは考えられないとして早刻開交に応する様要求した。

然し経営陣は前記の理由を主張するのみで遂には吾々組合側團交委員に背を向け、さつさと帰宅する始末である。これが組合に対する態度かと思うと情けなく思つた。そしてこれでは一体何のため組合活動をやつてきたのだ

う。又決して病院の発展はある得ない筈だ、そんな風に考へる時われわれは経営陣に対し強い反発感をいたいたのだ。

こんな状態が長く続く限り労使間の溝は益々深まるばかりであると考え去る四月八日の定期大会においては、大田原日赤の近代化という運び方針を議決組合は直に行動に移つた。幸いにして思つく間もなく十三日に团交が開らかれた。組合側はこれまでの実態を訴え組合側の主張を論じ、経営陣の反対と責任をするなど追及した。しかし経営陣の言葉は、われわれにしてみれば全くの云いわけのみの連続であり、所謂「乱た労使間」の改善は全くの態度に怒りがこみ上りかけたときの期待はすれに終つた。

音テープを聞いた時、あまりにも無責任な経営陣の態度に怒りがこみ上りかけたときの期待はすれに終つた。

励ましの言葉をうけ、大会は最高潮となつた。そして経営陣と眞面から斗い経営陣の反対を求めるには組合側の意向を取り入れなければ「経営者の退陣を要求する」という斗争方針を決して臨時の争力針をもとに新年度二回目の開会にのぞんだ。

その結果病院は、これまでの大会は散会した。われわれは、この開会にのぞんだ。

己の欠点を認め、組合側の主張をとり入れる事になり、今後は完全なる労使協調路線を堅守する事を約束した。一応組合側の主張を

も知れないが、こんな無能なる経営陣に仕えて、自分等が恥しくさえも思ってきた。

そこで定期大会十日后的十八日に臨時組合大会を開催した。

そして役員はこれまでの経過を報告し今後の斗争方針を討議した。

全国の新労加盟単組からの数



今津日赤新労

新らたなる同志

新労加盟に際して

今津日赤新労

全く遠く、風光明媚な処であり

ます。

病院は木造二階建で、創立四〇周年を迎えるとしている程の建物

です。

それを云うのも事前に新労の組織

省する事が多くなり、こゝ一年間

我々は客観的に情勢を判断し、全

日赤脱退を真剣に討議したいに今

年の二月二十三日の臨時大会で脱

退を決定した次第です。

それを云うのも事前に新労の組織

省する事が多くなり、こゝ一年間

我々は客観的に情勢を判断し、全

日赤脱退を真剣に討議したいに今

年の二月二十三日の臨時大会で脱

ス一ト三労新赤

八戸赤十字病院
職員組合
執行委員長 同
副執行委員長 同
安竹石 永潤橋 浩恵恭 治子藏
同同同執副書記長
行委員長
小間野吉誠 広治子
大向山牧善弘
大久保善弘
大煙源右衛門
大久保善弘



吉原書記長の最後の挨拶

第六回定期大会は、今津、三原を病院職組の同志を新たに迎え、日赤労働運動の完全制覇を目指に、小崎執行委員長始め全組合が一丸となつて邁進すべく誓い合つた。

本年度もまた、新旧役員の入れ替りがあり、特に吉原書記長が印役から万止むを得ず去られたことは、私一人のみでなく全組合員が大きな柱を失つた淋しさを感じられたのではないだろうか。

吉原書記長が、新労発足以来五年有余の長期に亘り、それこそ食を忘れて日赤新労の発展に心を碎き、全組合員の生活と、新労をを通じての人間性の向上に尽されて来た日々を思い浮べた時、感涙する

感動を呼んだ 大会最終日

単組めぐり



私達の長崎原爆病院職員組合

私達の長崎原爆病院は、かつて日本唯一の貿易港として繁栄をきわめ、かずかずの哀話や物語を秘めた土地、最近は観光地としてもその名を知られている長崎の地にあります。

現在、市の人口四一万余、広島と増床、職員数も二七〇余名となし、原爆医療の研究も行なはれ、剖数は全国有数であります。又、二七〇名の被爆者の治療及び社会復帰のため従業員一同、日夜努力致しております。

共に原爆の悲惨さを身を以つて
経験した市民は、平和を心から願
つゝ復興に起ち上り、職前にも
す素晴らしい都市に作り上げま
た。

今や、世界に冠たる造船界、そ
三菱長崎造船所を始めとして海
物にも思まれ、水産県として發
して参りました。

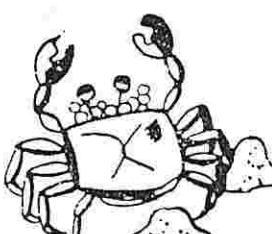
風光明媚・気候温暖で又、人情
こまやかなところであります。
長崎原爆病院は昭和三十三年五
二十日に原爆被爆者の治療セン
タとして開設され、今年五月で
九年目を迎えました。

当初入院施設八十六床として發
し、その後被爆者の病床不足の
め更に昭和三十五年に三一床

と若々しく気力に満ちておりました。しかし、全日本赤の大ストのさわぎで、早くになごやかな大平ムードになりました。にひたつていた私共も病院の拡張と共に、私共従業員の全く知らないうちに種々の複雑な事件があって、自分達を守る自分達の組合を作ろうと云う気運がみぎり、昭和三十五年七月に組合が見えたのであります。

当初、上部團体に加入しない方々のものとに、結成したものの、日々従業員として多くの仲間と共に活動も出来る確信し昭和三七年四月日赤新労へ加入しました。全員が日赤新労一本にまとまり、そこで、組合活動は比較的うまく

いつてると思はれるが、その後、病院経営者側ともさしたる問題で、起らないため、組合意識がやゝ低調ではないかと心配した時機もございましたが、昨年の給与改訂交渉の際、統一スト権確立も新労基によるの単純に先がけで、絶対多数によ



長崎縣癌病院體質組合

同会計監査
安永幸生
西脇百合子
山義郎
佐一郎
木美都子
岩国佐
高鈴木
白井茂
松秀典
新赤福岡県支部
新労働組合

日本赤十字社
宮城県支部職員組合



同計監查 安永幸生 西脇百合子